

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「あいあい」長崎時津校		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 14日		～ R6年 12月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	R6年 11月 14日		～ R6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの発達に合わせたオーダーメイドの個別療育	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様のその日の状況に合わせて内容の変更などができています。 ・定期的なアセスメントを行い、一人ひとりに合わせた個別支援計画を作成し、それに沿った支援の提供を行っています。 	今後もお子様、保護者様に寄り添いながら、その子一人ひとりに合った支援を行っていきます。
2	保護者様との情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様へのフィードバックする時間が確保されており、その日の振り返り以外にもご家庭や学校での様子を聞いたり、困っていることをお話して頂いたりできており、情報の共有がしっかりとできていると感じます。 	送迎で来所されない保護者様もいらっしゃるのでラインやお電話などでの情報共有もしっかりと行っていきたく思います。
3	専門性を活かした、チームアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士、教員、心理士の資格を持った職員が専門的な知識を活かしながらお子様と関わっています。職員間で連携を図りながらその子に合ったチームアプローチを行っています。 ・普段から情報の共有がしやすい雰囲気作りを心掛けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、どの指導員が支援に入っても安定した支援ができるよう情報の共有はしっかりと行っていきます。 ・今後も内部研修、外部研修に参加し、情報収集、スキルを高めて支援の質の向上も図っていきたく思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者の送迎を行っていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・当教室では十分な支援時間、保護者様とのフィードバックのお時間をしっかりと確保するために送迎サービスを行っておらず、保護者様にご協力いただいております。 	出来る限り、ご利用者様の希望された日にご利用できるように、日程の調整をさせていただきます。
2	地域との関りが少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度初めて、ハロウィンイベントで近隣の店舗や大家さんにご協力いただいて地域の方々と関われる機会を設けました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様からご好評のお声を頂きましたので、今後も定期的に、地域の方々と関われるようなイベントを開催していければ、と思っています。
3	支援の提供時間が短い。	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の集中力を考えて1時間という時間を設定しています。短い時間ではありますがしっかりと1対1で関わる時間となるので「貴重な時間」と捉えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団のイベントの際など、支援上必要な場合は1時間半の時間設定にすることもあります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「あいあい」長崎時津校

公表日 2025年 1月 23日

利用児童数

16

回収数

13

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1			・たくさん遊ぶものがある楽しんでいます。 ・一人利用の時間が多いので広々使わせてもらっています。 ・個別の空間を意識してくださっています。	引き続き、パーティションで区切るなどして個別の空間が保てるような環境設定を行っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12			1	・職員さんは子どもの様子を細かく見てくれて安心して任されています。	引き続き、職員数に対しての利用予定を設定していきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	4	1	1	・そもそも入口が階段なのでバリアフリーとは言えないのではないかと思います。	入口が階段になっています。手すりは設置されていますが転倒などないように、注意を促しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1			・窓も多く開放感があり、季節ごとに変えてくださり毎回楽しみにしています。 ・職員さんが女性ばかりなので清潔感が保たれていると思います。	季節ごとの壁面など、子どもたちが季節を感じながら過ごせるように意識しています。今後も、環境設定をしっかり行い、気持ちよく過ごせる空間を提供していきます。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1			・色々配慮して下さりいつも感謝しております。ただ顔には人見知りも目立ち、先生方に慣れるのに時間がかかることもあり、ある程度先生を固定してくださるようお願いするときもあります。先生方のご都合があるのをご存知です。可能な範囲でおねがいできればと思います。	一人ひとりの特性に応じた対応をしています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	1		6		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	2			・子どもの意見、親の意見を取り入れてやってくれていると思います。	引き続き、ご利用児童、保護者様に寄り添いながら支援を行っていただければと思っています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1		1	・計画に沿って療育されています。 ・計画にないことでの対応もきちんとされています。	引き続き、しっかりとアセスメントを行い、計画書の作成を行い、計画書に沿った支援を行っていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1		2	・娘が興味を示すように色々な活動を提案して下さり、感謝しております。	ご利用児童の状況などを考慮しながら、活動のプログラム考えていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	4	5	2	・これからの活動に期待します。	今後、地域との交流を増やしながら他事業所、関係機関と活動ができる機会を設けていきたいと思っています。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13				・丁寧に教えて頂きました。	引き続き、利用者様、保護者様が分かりやすく、安心できるような説明を心がけます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9		1	3		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	12	1			・毎回活動の内容や子どもたちの様子を知ることでき、子育ての励みになっています。	引き続き、しっかりと保護者様とお話ができる時間を確保し、ご利用児童の状況を伝えたり、ご自宅の様子を伺うなどして共通理解をしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1		1	・利用始めたばかり。 ・いつも気にかけてくださりありがとうございます。	定期的な面談を行っていき、いつでも相談して頂けるような環境を整えます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1		1	・わがまま娘にいつも優しくしてくださっています。	気持ちに寄り添った支援を大切にしています。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1		4	・親同士の話、とても勉強になります。	今年度、保護者会（1回）、ママカフェ（1回）開催いたしました。今後も引き続き定期的な開催を行っていきたくております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	2		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1		3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1		3	・訓練はわかりません。	個別支援のため、利用児様全体を対象とした訓練の開催は難しい状況です。訓練は定期的に実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1		7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	2		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	1		6		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	2			・最近ようやく環境に慣れ、自ら行動できるようになりました。 ・とても楽しみにしていて落ち着く場所としています。	引き続き、ご利用児様、保護者様が安心して通所できるよう、信頼関係の構築を行いながら環境を整えていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	3				
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1		1	・やっと子どもたちも落ち着きつつあるのでこの状態を維持できればと甘い思いがあります。 ・支援員さんたちのおかげで子どもが楽しく通えている。 ・1日の中で十分お話を聞かせてもらっていると感じる。 ・とても満足しております。 ・我が子を楽しそうに行き帰りニコニコなのは母よりの安心です。	一人ひとりの発達状況に合わせたオーダーメイドの個別療育を行いながら指導員もご利用児様の成長を感じることができ、嬉しく思っております。楽しく通ってくださって嬉しく思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「あいあい」長崎時津校		2025年 1月 23日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	パーテーションで仕切り、他者への配慮を行っている。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	現在の職員数に対しての利用予定を設定している。 (1コマ3支援)	1つの枠に3～4支援入った場合、指導員が急遽休むと支援が困難になる。 (1～2名の増員を)	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	広さが刺激になるためパーテーションを活用。着座の活動は、基本的にブース内で行う。	床は滑り転倒しやすく、建物の2階に位置し急な階段の昇降があり危険。(手すりは設置してあるが昇降時には転落がないように注意を促す。)	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	職員で分担して掃除を行い、清潔な空間の提供を行っている。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	個別ブースを活用している。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	年に2回事業所と個人の目標設定を行っています。その目標に対して毎月振り返りを行い、個人での目標を持って取り組んでいる。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	年に1度のアンケートを実施しています。職員で共有し、改善を図れるよう務めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	朝礼やMTGでその都度意見交換する時間を設け、業務改善に繋げている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		第三者委員会の設置ができていない。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	エリア、発達支援研究所の研修年間スケジュールに沿って研修が行われており、資質の向上に努めている。		
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	5			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	アセスメントをもとに、計画書の原案を作成。原案作成後は、事業所内で原案の内容を話し合い、保護者や子どもに合う本計画書の作成を行う。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	事業所内で内容を話し合ったり、意見交換しながら支援計画を作成している。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	本計画書に沿った支援を基本として、支援の提供を行っている。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	会社独自のアセスメントツールを活用している。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	ガイドラインに基づき、子どもに必要な支援内容が具体的に設定されるように計画書の作成に努めている。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	活動プログラムを職員同士で話し合い、検討してプログラムを立てている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	活動プログラムが、固定化しないようい その都度職員同士で振り返りなどを行い、 情報を共有し固定化しないよう努めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	個別支援が中心だが、 月に1度小集団のイベントを行い、 適宜組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼やMTGなどで、利用者の情報を共有しながら、支援の内容や役割分担を決めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	合間のMTGで支援の振り返りや 保護者との共有事項などを、職員に伝達し 次回の支援に繋げられるように努めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	支援記録は支援終了後または翌日に記録を取り、支援の検証や改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的にモニタリングを行っている。 計画の見直しが必要な時には適宜モニタリングを行い、計画書の見直しに努めている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	その都度支援計画を立て、基本活動を組み合わせた支援を提供することに努めている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	いくつかの選択肢を設定したり、利用児童自ら決定できるような支援したり自己決定をする力を育てるよう努めている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児発管と担当している職員が 必ず参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	一部連携しているが、今後も関係機関との連携を深めていけるよう努めていく。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	送迎がないため、保護者との連絡を行っている。学校との情報共有が必要な場合は、適宜連携を取って	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4	今のところ前例なし。	該当者がいる場合、保護者・本人と提供内容を確認しながら情報提供を行ってきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		利用開始時には、情報共有は行っているが助言を受けたことはない。 今後は発達支援センター等との関りが密になれるように努めていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		外部との交流がないので、今後は交流を深める活動を行ってきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	時津町の放デイ連絡会への参加をし、 地域における支援体制に関する課題について 情報を共有、支援体制の整備に関する協議を行っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	支援後はフィードバックの時間を設けている。 支援の内容や児顔での様子などの意見交換を行い共通理解を深めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5	昨年9月にあいあいカフェ（保護者会）を開催し、情報共有の場を作った。今後も保護者の開催を定期的に行っていく。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に重要事項説明書において、 運営規定、利用者負担額などの説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	支援計画作成時は、保護者とのモニタリングを対面で行い、利用児や家族の意向を確認している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	支援計画を作成し、保護者への説明を行い、同意を得たうえでサインを頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	相談があったときには、面談を行い適宜相談援助を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	昨年9月にあいあいカフェ（保護者会）を開催し、情報共有の場を作った。今後も保護者の開催を定期的に行っていく。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情があった場合は、苦情受付報告書に記載し、迅速に対応できるよう体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	その都度LINEや電話にて情報を発信。ブログやインスタの更新を行い情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	鍵付きの書庫にて保管を行っている。また関係機関へ情報の提供を行うときは保護者へ書類の提供の必要性を説明し保護者の同意のもと関係機関へ提出するように務めている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	一人ひとりのお子様、保護者に合わせて分かりやすく情報の伝達ができるよう努めている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	イベントの中で、地域の方にご協力をいただいた。今後も地域とのかかわりができる活動を行っていく。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアルを作成し、職員への周知・訓練はできている。利用児も参加する訓練も行っている。	個別支援中の訓練になるため、全ての利用児の訓練、保護者へのができているわけではない。小集団での訓練や、保護者への周知を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	会社でのBCP見直しの研修があり、策定を行っている。月に1度災害を想定した訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	アセスメント時に服薬の有無、てんかん発作などの聞き取りを行い、情報共有を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		アセスメント時に、アレルギー有無の確認を行い職員間での情報の共有は行っているが、医師との連携はできていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	契約時に説明を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	ヒヤリハットや事故が起こった場合は、その都度保護者へ報告している。また職員で原因を考え改善に努めている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットの気づきがあったときは、報告書を記入、職員で情報共有を行い改善に努めている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	会社内で虐待防止研修が行われ、職員は参加している。また、事業所内でも研修・委員会を開催し、適切な対応ができるようにしている。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	身体拘束に関して、会社内で研修が行われている。やむを得ず身体拘束を身体拘束を行うかについては、切迫性・非代替性・一時性があるのかチェックリストを用いて検討し、対応が必要な場合は保護者との面談を行い了承のもと計画書へ記載していく。		